

2023年9月1日
商工中金

食品廃棄物を活用し循環型社会実現に取り組む株式会社エコ・フード東海様を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（京浜島出張所）は、株式会社エコ・フード東海様（本社：山梨県南都留郡、代表者：熱田 唯史様）に対し、食品廃棄物を活用したバイオマス発電施設新設に必要な資金 4 億 8,000 万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社グループは、外食産業等から排出される食品廃棄物の収集・運搬・中間処理を行い、それを原料として家畜飼料等の製造等、資源循環型の食品廃棄物処理を手掛けています。同社の乳酸発酵式液状飼料は製造過程で化石燃料を使用しないため、CO2 排出量を抑制できることが特長です。

今回同社は、本件新設による発電能力の拡大や働きやすい職場環境の整備等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社エコ・フード東海様の概要】

所在地	山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺 1183 番地
代表者	熱田 唯史 様
業種	バイオマス発電、食品廃棄物収集・運搬・中間処理、飼料・肥料の製造
資本金	300 万円
従業員数	31 名（グループ合計：2023 年 7 月時点）
設立	2009 年 3 月



【バイオマス発電施設】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

